

# 大塚 智見

法学研究科・准教授

## 【研究】

これまで委任を中心に研究してきたが、令和3年度は、親族法、相続法、信託法及び消費者法という、多様なテーマにつき研究成果を出すことができた。特に、「高齢者の預金取引における家族の権限と金融機関の責任」及び「消費者契約法4条改正の理論的基盤」では、実務的に重要な問題に対し、理論的な分析を加えつつ、解釈論のみならず、制度設計や立法論に対する提言も行った。

## 【教育】

初学者向けの入門書である『大学生活と法学』を刊行した。近時、平易な法学入門書が多く出版される中、初学者でも理解できるよう配慮を行いつつも、最先端の議論を紹介することにより、意欲のある初学者が興味を持って学習を進めることができるような内容となっている。

## 【管理運営】

特になし。

## 【社会貢献】

日本私法学会の運営懇談会委員として、学会のオンライン開催の方法につき何度か会合に参加し、議論を行った。

法務省民事局の調査員として、法制審議会担保法制部会に参加した。さらに、部会提出資料につき事前にコメントを行い、また、部会終了後、民事局の担当者と共に議論を行った。